

イエスの誕生と復活のストーリー

クリスマスの意味は復活にある

Mtt1-2,27-28 Mrk1,15-16 Lke1-2,23-24 Jhn1-2,19-21 Act1

■予型論的解釈 Typologyは、旧約に書かれているひな形（予型 Type）が、新約において成就（原型 Anti-Type）することだけに限られるものではない。何度も聞いたことのあるクリスマスのストーリーも復活のストーリーとくらべて読むことにより、その意味が深まる。

■聖書をくらべて読むには、まず記入用聖書を準備し、色鉛筆を手にして丹念に同じ言葉に色を塗り、同義語、反意語、定型文を手がかりに、段落を区分し、段落の間のつながりを連想し、全体像を把握していく。

■ストーリーを観察する場合は、登場人物（主役、相手役、脇役、外見、系図、経歴）、出来事、場所、時期、セリフ、大道具、小道具、日数、年数、音などに注意する。

誕生	復活
(貧しい)正しいヨセフ Mtt1:19	金持ちで議員の正しいアリマタヤのヨセフ Lke23:50
ザカリヤは預言を信じなかったので、口がきけなくなった Lke1:20	ふたりの弟子（エマオ村に行く途中）は、預言者を信じないので、目がさえぎられていた Lke24:16,25
処女マリヤは聖霊によって子を宿す Lke1:27	七つの悪霊を追い出していただいたマグダラのマリヤ Lke24:10, Lke8:2, Mrk16:9, Jhn20:
処女（誰も産んだことのない腹） Lke1:27	だれも葬られたことのない新しい墓 Lke23:53, Jhn19:41
御使い「恐がることはありません。」-良い知らせ Lke1:13, 1:30, Lke2:10	御使い「恐がることはありません。」-良い知らせ Mtt28:5
アセル（幸い）族のアンナ（ハンナ） Lke2:36 「なんと幸いなことでしょう。～マリヤの歌（ハンナの歌）」 Lke1:45	イエスに付き従う女たち、ヨハンナ（ハンナ） Lke24:10
主の栄光に照らされた御使い Lke2:9	まばゆいばかりの衣を着た御使い Mtt28:3, Mrk16:5, Lke24:4, Jhn20:12
布にくるまって飼葉桶に寝ておられるみどり子 Lke2:12	イエスを亜麻布で包み、墓に葬る Mtt27:59
さて、この地方で羊飼たちが夜、野宿しながら羊の群れの番をしていた…そして急いで行って、マリヤとヨセフ、また飼葉おけに寝かしてある幼かな子を捜しあてた。（ミグダール・エデル） Lke2:8, 2:16	朝早くまだ暗いうちに、マグダラ（ミグダル）のマリヤが墓に行く Jhn20:1
東方の博士が、黄金、乳香、没薬を捧げる Mtt2:11	女たちが香料、香油持ってくる。ニコデモが没薬を持ってくる Lke23:56-24:1, Jhn19:39-40
正しいシメオンがイスラエルの慰められることを待ち望む Lke2:25 （正しい行いをした）女預言者アンナがエルサレムのあがないを待ち望む Lke2:38	正しいアリマタヤのヨセフは神の国を待ち望む Lke23:51